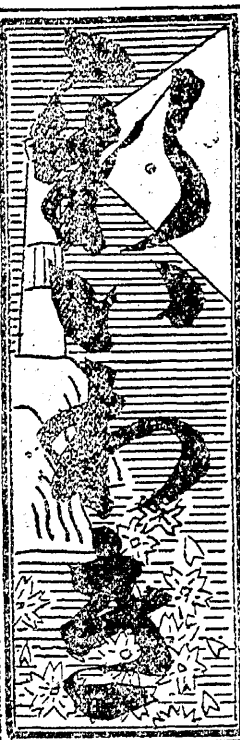


【刊夕日四十月二】



大漁船の表彰式 四倉町で最高 一萬七千餘圓

石城の所得と營收益

一割乃至一割五分減 昭和元年度に較べて半減 景氣時代に比せば三分一

平稅務署では昭和六年年度の所得稅及び營業收益稅に對して委員會の招集に先き立つ資料調査中であるが打續く不景氣で年次漸減しつつある當年の

同稅額

は五年度に於ける經濟苦の實態が基礎となるので兩稅共に一割乃至一割五分程度の減少を豫想されてゐる模様から見れば所得稅六萬圓營業收益稅三萬圓位に下るものゝ如く之れ

昭和六年度に較ぶ

れば左記の通り所得稅に於て四萬五千圓營業收益稅に於て二萬圓を減じ好景氣時代に於ける最高額大正八年度の十六萬七千四百八圓の所得稅は

稅法の 改正關係等

で一樣には見られぬとして約三分の一の減少で營業稅の如きはそれ以上に下つてゐる

▲昭和元年度所得稅一萬五千圓、同二年度一〇成續が良好でなく去る一月八ヶ町村の三百六十九人が般養蠶家に有るやねばならぬ年内立春とは申す迄もなく

梓積堆肥講習

石城郡神谷村農會では十四日午前九時から梓積堆肥講習會を開催し郡農會から柴田技手實地指導の爲め出張した

コタツから火事

平驛鐵道官舎居住助役床宿廣之方勝手四疊半の間が十日午前十一時過ぎ煙が充満してゐるのを附近のものが見つけつけて消火に盡し大事に至らなかつたが疊建具その他同室の黒焦げは約千圓の損害である原因は炬燵を置き不在せる後へ屋外

農夫の縊死

石城郡警崎村の西郷字落合に飼ふ犬が潜り込んだ際火農機上籠吉(七)は十三日午八時頃自宅倉庫内で縊死紙に燃え移つたものと云はし居るを午後六時頃家人がれてゐる

宅地租及び所得稅の 滞納の大關は平町

石城郡内四十ヶ町村の中 期限内納入は廿二ヶ町村

期間内

に納めたものは四十ヶ町村の内僅かに左記十二ヶ町村で残る二十五ヶ町村の二百六十九人が般養蠶家に有るやねばならぬ年内立春とは申す迄もなく

増加で 不良の大關

は農村のそれと異なり比較的有産階級の義務者と見られる平町が三十四人二百五十圓九十五錢の第一位で次は赤井村の五十五圓十七錢(三十七人)第三位が

上遠野

村の三十三圓二十六錢(五十三人)が主なる所であるが納期を同じくする所得稅滞納も平町が第一位で期限内納百九十圓四錢此の人員十四人第二位は三井炭礦の廢山によ

義務者

の異動で警崎村に六八三十四圓七十八に該現金を寄附したと

理想通りに行ひ難く 組合製糸困難の模様

蚕家の理解が容易でなく 失敗の多い經營にも不安

石城郡では蠶業校同窓會の叫びに動かされ販賣利用の組合が主となつて組合製糸の創設計劃を唱ひられてゐるが同設立には會報の如く經營に其人を待て

理想通

りに行ひ得る蠶石の確信なき限り深考を要すべきものあるを識者間に語られてゐる云ふ迄もない組合製糸の根本精神は供養蠶度であつて運用資金までも

提供す

る覺悟を一切

貧困兒童に 百圓寄附

平驛鐵道クラブから

平驛鐵道クラブでは今春從事員の家族慰安會を計劃されてゐる經費の中から百圓を天引して町内各小學校の貧困者兒童を救済すべく去月十三日麻植榊長の發議によつて滿場一致の賛成を得たので其の方法を伏見平町長に任せ同日同榊長から町長

平水道擴張工事に 設計脱漏一萬餘圓

柴山技師の辭職は其の爲 理合せに苦心中の町當局

平町上水道の擴張部事務課を控ふる町に相當の狼狽長技師柴山爲次氏に對するを惹起してゐる前して脱漏同會議員間の空氣は就任當時から好ましからぬものあつたが同技師は自己の設計せる

右工事

が未だ三分の一にも進まざる云十日察如伏見町長の許に辭表を提出したので一般町民は意外の感に打たれてゐるが同技師が此の擧に出づるの餘儀なきに至つたものは

設計に

脱漏が多く 大なる豫算狂ひを生じた責任辭職らしく新豫算編成期石城郡高久村の神谷作居住

今年やうに未だ陰曆正月にたりなしたは古今和歌集巻頭の歌に

大漁船の 表彰式

四倉町で最高 一萬七千餘圓

石城郡四倉町の漁業組合では昭和五年の大漁船に對して来る十七日午前十時表彰式を行ふ筈だが各漁中の最高は左記の如く夏職大船の一萬七千五百四十四圓で小型船の秋職でも三千二十九圓の漁獲を上げてゐる

調査中

詳細でないが一萬圓以上に及ぶものゝ如く町當局では此の狂算に對し豫備費の一萬圓と諸材料の廉價購入による剩餘等によつて埋め合すべく腐心中である又

擴張工

事は柴山氏の後任が見つかるとまで水道課長山下技師により繼續されることになつた

無錢で飲食

舊年内なものにも春が来た今日からふり返つて以前の日數を去年と云つたものだらうかと云ふのですが今年やうに有名歌があるから和歌一首をよみ出したので

和歌一首をよみ出したので

俳句

立春 (八)

満壽莊主人

年内立春と云へることを

電柱に衝突

石城郡小名濱町の橋本一〇

トラツク

貨物自動車營業吉田政五郎

方運轉手小玉己之末(三)は

十三日午後二時頃同郡江名

町下神白元小學校前の縣道

を疾走中操縦を誤つて路傍

の警察電柱を根元から折損

した

舊年内なものにも春が来た

今日からふり返つて以前の

日數を去年と云つたものだ

らうかと云ふのですが今年

やうに有名歌があるから

和歌一首をよみ出したので

和歌一首をよみ出したので

和歌一首をよみ出したので

和歌一首をよみ出したので

産業

促成栽培(四)

床造と踏込み

又水分が多過ぎると發熱が速れる、少なきに失すれば早く發熱する代りに持久性がなくなる(以上の水分の量は乾燥材料の場合の例であつて濕氣が多い材料であればもつと少なくてよい)

「鎮壓」は足で充分鎮壓して見て、足指の間に水分が少しばかりにちみ出る位がよい、この踏込みは胡瓜の如き所要温度攝氏廿三、四度内外のものを十一月頃播種する場合の播種床の踏込み法であるが、茄子トマト等に於ては前述の材料の二割位を増加し従つて前に述べたものより一列位層を増加すればよい、菜豆や萓などでは前記の材料より一割位減らしても差支ない胡瓜の場合の踏込み方もこれと殆んど同様でよい併し出来ることなら材料を一前位増して踏込みを厚くすると尚ほよい殊に嚴寒一、二月頃は必要がある、床温はかくして三十五乃至四十日位は持續する尚ほ他の材料による踏込み法を示せば左の如くである

- 一、新鮮厩肥一三〇乃至一五〇貫、水六乃至七荷厚さ約一尺二寸
- 二、新鮮厩肥六〇貫、稻藁廿四貫(百五十束)糠四

貫、肥六乃至七荷厚さ一尺二寸
三、紡績屑四貫、稻藁三十貫(四百二〇束)水一乃至八荷、厚さ一尺三寸
これ等の材料は混合して踏込みを終る様にすることが常である(完)

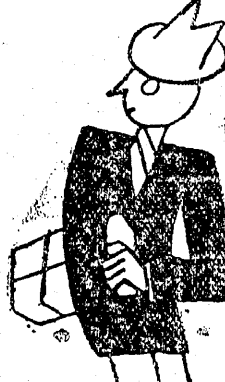
街客様存の良産賣

冬物入荷澤山

伊平 伊関吳服店

内科 小児科 梅毒 淋病
市原醫院
平町 田町
電話一四一四

模範裁縫
高島屋の洋服
平町駅前 電話三八六番



既製部
オーバー 五圓から
川圓まで
二重廻し 七圓以上

注文部は各種破格の勉強

噂の種
歳末景品付特賣
舊廿日より晦日
モリタマ洋品店
5丁目電353

味噌醬油 正宗 鐘詰鯉節
山崎會社
電話 釀造部 二七番 營業部 一〇番

貨品の本位
御進物には 商品切手

外科、小兒科 平町、電話五二三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長醫學士高久忠

煙突は 朝日
石綿セメント製
金屋商店

絶対的
はやい
やけたい!!
くさりない!!
経済的
火災の心配がない

警城共濟病院案内
本院は時局に鑑み入院料並に往診料左の通り低廉致候御参考迄申上候

入院料 一般 金貳圓也
往診料 限り、一般金三圓也
本院本會員金二圓也

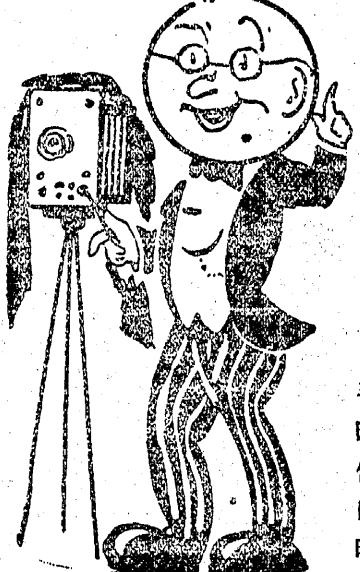
各科 内科 小兒科 皮膚泌尿科 整形外科 産婦人科 女子泌尿科
外科 耳鼻咽喉科
光線科 (物理學的診療科)
本院主 賀澤忠治
院長 醫學博士 難波 睦

本院(本病) 救療を申込る、方は當院内(相談所へ御話し下さい)

警城共濟會(警城 平町) 電話六四二番

安價に 迅速に 町噂に 親切に
福島縣石城郡平町
遠藤活版所
電話二七七番

親切と迅速をモットーとする
大野寫眞館
平町仲田町



寫眞の御用命は當館へ……

冬のサロン
暖房装置完備しました
暖かい御飲物
暖かい御料理
そして芳醇のカクテルを
洋食通の季節になりました
ドーゾ御来店を……

サロンの田町 電話三五二番

諸毒下シの大妙藥
安流丸
特約 山野邊藥房